

## 支部長懇談会報告



後援会顧問  
掛巢 信樹  
(理工学部/義剛)

6月1日(金)外濠校舎にて、31の支部から支部長並びに役員の方々の参加をいただき支部長懇談会が開催されました。

今回の懇談会は、「今期の支部総会・父母懇談会準備にあたっての意見交換」のテーマに沿って、事前に報告をお願いした9支部の支部長から、各支部で実施されている「新人生父母の集い」の開催状況と準備状況について、次に「支部総会・父母懇談会」の準備状況について報告をしていただきました。各支部ともいかに参加者を確保し、実りある会議にするにはどうすればいいかご苦労されている状況がうかがえました。

懇親会の中では、「キャンパス見学とスポーツ観戦」について、昨年度実施された3支部から、その計画から実施までを報告していただきました。役員さん自らが計画実施された支部、旅行会社に依頼された支部と方法はさまざまでしたが、子どもたちの学び舎を見学し、スポーツ観戦をするこ

とで役員が一つになれたことがよかった、また計画したいとの報告がありました。会員皆さまのご参加が、支部活動のそして後援会活動の活性化につながりますので、ぜひご参加いただければと思います。



## 支部長会議報告



後援会顧問  
小池 旭

6月2日(土)、外濠校舎において支部長会議が開催されました。今年度は36支部84人の支部長・支部役員の出席がありました。徳安常務理事より東日本大震災後の防災対策、最新の就職状況などについて話をいただきました。今村浩後援会会長のあいさつの後、議事に入りました。2011年度の支部活動報告書については支部からの大学への要望や後援会への要望の主なものを取り上げ説明が行われました。また、支部共通の問題として「新人生父母の集い」や夏の「支部総会・支部懇談会」への参加者を増やすことや役員確保に関する多く取り上げられていました。その問題に対しては報告書の中にもいくつかのヒントとなる報告もありました。続いて、昨日行われた支部懇談会の報告、支部運営に対する提案、2012年度後援会事業計画概要報告などが行われました。

新年度にかわり、この時期は大変忙しい

く苦労が多いとは思いますが、支部の役員の方々の熱意が支部活動の活性化に結びついていて、これは間違いありません。今後とも後援会活動にご理解とご協力をお願いいたします。



## 2012年度総会報告



後援会顧問  
奥山 孝夫

6月2日(土)、外濠校舎薩埵ホールにおいて、2012年度法政大学後援会総会が開催されました。来賓として、森本靖一郎関西大学理事・相談役と大塚征次関西大学教育後援会幹事長、桑野秀光

校友連合会会長、池上孝三後援会クラブ会長をお迎えし、全国36支部から各支部長をはじめ、支部役員や本部役員、一般会員の皆さまが出席されました。

まず、今村浩会長のあいさつで幕を開け、桑野校友連合会会長、池上後援会クラブ会長よりごあいさつをいただきました。引き続き各議題の審議に入り、それぞれについて説明がありました。

昨年の東日本大震災の影響は大きく、後援会としても、被災した学生の支援をメイン事業と



会場の薩埵ホール



2012年度新運営委員



今村浩2011年度会長より渡邊秀雄新会長へ棒が引き継がれる

考え、事業計画や予算編成においても、被災学生への支援を継続して実施する意向を明確化した内容でした。

また、新体制の後援会役員の仕事においても、長年にわたる後援会活動の趣旨をご理解され、これまで後援会活動に携わられてこられた先人達の意志を、しっかりと受け継

いでくれることと確信できる面々が選出されました。

前途多難と思われたこの一年間ではありましたが、後援会役員をはじめ、法政大学関係者の皆さま、校友連合会および後援会クラブ等、関連団体の皆さま方に支えられ、何とかこの激動の一年を乗り切った

2011年度の執行部役員の方々の皆さま、ホッと胸をなで下ろしていることでしょう。

2012年度役員の方々に、期待の念とエールを送り、これをもって2012年度法政大学後援会総会の報告とさせていただきます。

# 2012年度 法政大学後援会運営委員



写真前列向かって左から  
齊藤 信幸 総務、水上 智美 副会長、渡邊 秀雄 会長、掛巢 信樹 副会長、奈良 陽子 総務  
後列左から  
前島 多恵子 事務局局長、戸松 みゆき 総務、相原 啓子 総務、千葉 大一 総務、高坂 信貴 総務、神 純一 総務  
植草 茂伸 副会長、宮崎 恵之 総務

## 2012年度 後援会役員

会長	渡邊 秀雄
副会長	掛巢 信樹
総務	奈良 陽子
常任幹事	榊 純一
4年	近江 秀晴
3年	石原 秀子
2年	熊田 敏文
1年	飯高 靖子
監査	久保田 寿男
4年	天野 尚文
3年	飯島 仁
2年	池田 隆
1年	飯高 靖子
4年	長谷川 あけみ
3年	高浦 真理子
2年	柴田 康宏
1年	山田 豊美
4年	石川 清美
3年	小島 優子
2年	佐久間 貴子
1年	小林 章
4年	大橋 芳郎
3年	酒井 裕之
2年	鈴木 聖子
1年	近藤 清司
4年	加藤 伊知郎
3年	櫻井 秀紀
2年	鶴田 善徳
1年	作本 武
4年	御簾 納明美
3年	櫻井 秀紀
2年	鶴田 善徳
1年	中村 恵吾
4年	吉野 幸男
3年	柴田 悦男
2年	松橋 敦子
1年	齋藤 昌夫
4年	木田 修二
3年	菅原 明博
2年	博田 裕代
1年	鈴木 泰恵
4年	設楽 和宏
3年	山下 奈穂美
2年	富岡 透
1年	高沢 香苗
4年	清水 永一
3年	森洋子
2年	佐々木 幸男
1年	森中 貴恵子

## 体育会応援16 【山岳部】 ～親からのメッセージ



久保田 智  
(真平 / 文学部)

1924年創立の長き歴史と伝統を誇る法政大学山岳部へ息子の背中を押したのは、彼が10歳頃にした私との約束でした。富士川河川敷からはるかに望む雄大な富士山を眺めながら、いつか一緒に登ろうと話しました。数年後、彼が高校1年の夏休みに、家族全員で富士山へ登ることになりました。

当日は天候に恵まれ、見渡す限りのすばらしい景観に胸打たれました。元祖七合目の山小屋で夕食のカレーをいただき、仮眠をとって夜中2時の出発に備えました。しかし楽しい山登りだったのもここまでで、私と娘は高山病で起き上がりませんでした。妻と共に富士山頂で御来光を眺めた息子は、とても感激して戻ってきました。たぶんその感動が、今の彼につながっているのでしょう。

息子は小学3年から剣道を始め、中学・高校と続けました。も

ともと運動が好きだった彼が、大入学と同時に選んだのが山岳部でした。時々帰省した折には、唐松岳のGW合宿のことや北アルプスの夏山合宿の様子などを楽しそうに話してくれます。これほどまでに一生懸命に打ち込めるものを見つけられて、息子は幸せ者だと思います。

沢登り、縦走、雪山、クライミングなど、山岳部では四季を通じてさまざまな活動を行っています。その活動の様子を山岳部運営サイト「法政大学山岳部ログ」で見るととても楽しみにしています。デットマン、スノーバー、アックス、コル、ルンゼ等々よくわからない専門用語も頻出しますが、若い部員たちの悪戦苦闘ぶり、温かく導いてくださる監督やコーチの存在、支えてくださる頼もしいOBの皆さまのことが見えてきます。山を通じて皆が繋がっていることがまぶしくくらいで、そのお仲間にも息子も入れていただけることを誇りに思います。

今年の2月から3月にかけて、

ヒマラヤ遠征がありました。目指したのは、6169メートルのニレカピーク。もう富士山どころではありません。初めての海外遠征で、いつもの10倍くらい大丈夫かなあと心配しました。そして約一カ月後無事帰国し、ネパールという異国の地で大自然や文化を肌で感じた遠征は幕を閉じました。今回の「ネパール海外登山計画書」に書かれていた言葉が思い出されます。「部として躍進し、人とし

て成長する」というものでした。法政大学山岳部に繁栄あれ、法政大学山岳部に幸多かれ。



2010年6月谷川連峰、白毛門沢にて



2012年3月ネパール・ヒマラヤ・クーンブ山群・ニレカピーク (6169メートル)

### 後援会ホームページのご案内

URL : <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。



### 「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、アメフト甲子園ボウルや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きます。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

